



高橋鮎生、Paul Drescher Ensemble (1993年 Interlink1993)

鼎談：“SoundArts と 記録映像”

10/4 SUN
15:00~17:30
(受付 14:30)

XEBECを「なんだかよくわからないけど面白そう」と思ってくれた人にとって、'91年開催の藤枝守さんのサウンドカルチャー・ワークショップは、一歩踏み込む入り口になったと思います。参加者はパフォーマンスかインスタレーション、ペーパーで最後に成果発表を行いました。この人達と関係性を続けるために会員制度を設置。彼らを核にその後、サウンドカルチャー・メンバーシップは大切な「音のコミュニティー」になりました。今回の展示の中心となる「SoundArts」は、会報誌として翌年スタート。A5版、20ページ程で和英バイリンガル、内容は現代音楽やサウンドアート、テクノロジー、アジアの音楽など、国内外からの音をめぐる話題。冊子は二つ折りして小さな紙の袋に入れて郵送料を抑えました。

この小さな冊子が全号合本、販売が決定しました。発売は来春3月頃を予定しています。



製作と販売は江村幸紀さん主宰の「エム・レコード」です。佐近田展康さんは当時、藤枝さんのワークショップに参加され、後に赤松正行さんとMAXの日本語解説書を執筆。また三輪眞弘さんとの「フォルマント兄弟」などで活躍されています。鼎談では、このお二人と藤枝さんに、当時のジーベックのことやアーカイブの効用、また今に続く活動など伺おうと思います。



塩見允枝子(1992年 メディア・オペラ)

ところで、もう存在しないと思われていたVHSの公演記録が多数発見され、大変驚きました。この一部も皆さんと観ながら「SoundArts」を軸に、色々とお話を聞いてみたいと思います。

下田展久 (SoundCulture Collective)



高橋悠治 (1989年 Macintosh Music Fest.IN KOBE)

江村幸紀(えむら こうき)

トーク



音楽プロデューサー／デザイナー。1998年より「エム・レコード」発足。音楽レーベルとしてはこれまで250タイトル以上の作品を発表し、並行して制作・編集プロダクションとしても活動。国内外のアーティストやレーベルと連携して制作を行っている。



emrecords



Shop



Facebook



Instagram

佐近田展康(さこんだ のぶやす)

トーク



音楽家、メディアアーティスト。1990年代よりプログラミングを使った音楽活動を開始し、Maxプログラミング解説書の出版等を通して日本のメディアアート界を牽引する役割を果たす。独自開発の「声」のリアルタイム合成システムや、三輪眞弘との「フォルマント兄弟」での人工音声演奏など、テクノロジーと身体の間を問い直す作品



を多数発表。名古屋学芸大学教授。

藤枝 守(ふじえだ まもる)

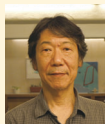
トーク



作曲を湯浅譲二やモートン・フェルドマンに師事。植物の電位変化データに基づく作曲シリーズ《植物文様》を展開。著書に『増補]響きの考古学』や電子書籍『孤高の響き』など。TZADIKからのアルバムをはじめ《ガムラン曼荼羅》など多数。喜界島サンゴ礁科学研究所特別研究員としてサンゴ骨格音響プロジェクトを実践。2027年2月に福岡アジア美術館で『ガムラン曼荼羅 四部作』の公演を予定。九州大学名誉教授、Ph.D. in Music (University of California, San Diego)。令和7年度福岡市文化賞を受賞。サウンドカルチャー・コレクティブ発起人の一人。

下田展久(しもだ のぶひさ)

進行



音楽・アートプロデューサー。1989年より「ジーベックホール」の設立・運営に携わり、ブライアン・イーノ展をはじめ「音」を軸とした先進的な企画を多数プロデュース。親会社TOAのメセナ大賞受賞にも大きく貢献した。阪神・淡路大震災以降は、日仏芸術交流「アクト・コウベ・ジャパン」事務局や、C.A.P.(芸術と計画会議)理事長(2015~2023年)を歴任。長年にわたり神戸の現代アートシーンを牽引する。

予告 モートン・フェルドマン生誕100周年記念コンサート

と き：12月13日(日) 15:30 ~

ところ：ジーベックホワイエ

曲 目：“パニータ・マーカスのために”(モートン・フェルドマン、1985)

ピアノ：法貴彩子 プレトーク：藤枝守

前 売：2,500円、当日：3,000円、SCC会員：2,000円

助 成：公益財団法人野村財団

会 場：ジーベック 神戸市中央区港島中町7-2-1

主 催：株式会社ジーベック+SoundCulture Collective

Website：https://sales.xebec.co.jp/

Instagram@xebechall_kobe Facebook@xebechall

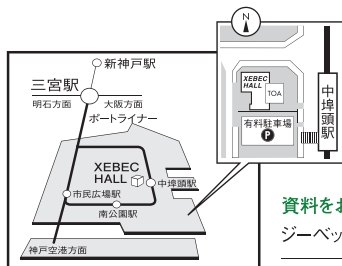
X@xebechall_kobe

お問い合わせ先

株式会社ジーベック 神戸市中央区港島中町7-2-1 TEL078-303-5600

SoundCulture Collective / サウンドカルチャーコレクティブ とは

作曲家の藤枝守とジーベックスタッフであった下田展久、森信子の3名で設立、「追悼ダニエル・レンツ ジーベックでマーヴェリックを聴く・語る」をジーベックと共催。SoundCultureはジーベックでスタートした会員制度の名称でもあります。



三宮よりポートライナーにて中埠頭駅下車

サウンドカルチャーコレクティブ会員募集

2ヶ月に一度程度、オンラインで会員向けの集い「サウンドカルチャー・カフェ」を開催しています。又サウンドカルチャー・コレクティブ主催プログラム等への優待も行っています。ぜひご参加ください。



ご参加はこちらから！

資料をお持ちではありませんか？

ジーベックの資料など、ご提供いただける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

ジーベック(菅原) TEL：078-303-5600 MAIL：hallinfo@xebec.co.jp